KITAGIN NEWS RELEASE 2022



2022年5月16日

各位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ~二葉運送 株式会社~

株式会社北日本銀行(頭取 石塚恭路)は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic (基本版)を通じて、二葉運送株式会社様(代表取締役 藤原修一)が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会	社	名	二葉運送 株式会社
所	在	地	〒028-3601 岩手県紫波郡矢巾町高田第 14 地割 1-1
代	表	者	代表取締役 藤原修一
業		種	運送業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標) への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと (Basic:基本版)、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定 (Progress:発展版)をお手伝い致します。

以 上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室(担当:加藤諒一) TEL:070-8690-4437



〒020-8666 岩手県盛岡市中央通1-6-7 TEL: 019-653-1111 (代表) https://www.kitagin.co.jp/

企業概要



二葉運送 株式会社 代表取締役 藤原 修一

(所在地:岩手県紫波郡矢巾町)





当社について

当社は岩手県紫波郡の本社を核に、物流サービスを展開する会社です。 私たちの生活で欠かすことのできない「物流」を通じて 「人と人」、「街と街」をつなぎます。

また、地球環境保護や地域社会貢献活動にも積極的に取り組んでおり

現状のSDGsに対するマテリアリティ(重要課題)

持続可能な社会実現を目指しております。

大項目	マテリアリティ(重要課題)
環境の保全	温室効果ガス排出量の削減、再生可能エネルギーの活用、脱プラスチック
従業員の働きがい	コミュニケーションの促進、病気治療や介護との両立支援、従業員のキャリア開発
地域社会への貢献	寄付活動、地域とのコミュニケーション、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、業務効率化や生産性の向上、デジタル技術の活用

二葉運送 株式会社 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の達成に、 以下のマテリアリティ(重要課題)への取り組みを通じて貢献します。



2022年5月16日 二葉運送 株式会社 代表取締役 藤原 修一

マテリアリティ(重要課題)

環境の保全

環境問題により具体的に取り組み、事業成長と環境保護への配慮の両立を目指します。

- ▼目標・取り組み内容
- ・共同配送による配送効率の改善および環境配慮型車両の導入
- ・太陽光発電の導入による脱炭素社会への貢献
- ・輸送用資材のプラスチック使用量30%削減









従業員の働きがい

ワーク・ライフインテグレーションの推進と、従業員のキャリアアップを目指します。

- ▼目標・取り組み内容
- ・インターナルコミュニケーション導入による組織力の強化
- ・介護相談窓口の設置による病気・介護を理由とした離職の防止
- ・社外研修制度の拡充による従業員のキャリア開発支援





地域社会への貢献

スポーツ活動を通じた寄付活動や協賛活動、地域特産品の地産地消推進を通じ地域経済の発展に貢献します。

- ▼目標・取り組み内容
- ・弊社フットサルチーム「Pseudonym」の活動を通じた寄付活動の継続
- ・職場見学やインターンシップを通じた地域共生力の向上
- ・関連会社「バンヤード」を通じた紫波町産ワインの地産地消推進







コンプライアンス・ガバナンス

持続可能なコンプライアンス体制の構築と、DX化による生産性の向上に努めます。

- ▼目標・取り組み内容
- ・法令違反・行政指導を受けた件数ゼロ
- ・RPA導入による生産性向上およびDX化の推進
- ・AI物流システム導入による更なる配送効率の改善







